

グループ全職員のみなさまへ

921台湾大震災に対する
災害医療協力報告(10/14)

本日10月14日朝の時点での台湾で活動中のTDMAT(徳洲会災害医療協力隊)メンバーの活動の報告と今日の予定をいたします。

TDMAT(徳洲会災害医療協力隊)の行動

10月13日の活動

東勢国民小学校避難所診療班.....

診療者数 53名(内科33,外科20)

内科(呼吸器24,消化器3,その他6) 外科(外傷12,その他7,vaccine 1)

熱があり点滴をした患者が1名でたが、概ね落ち着いていた

ベースキャンプ近くで活動していた隣町の中医診療班と交流し、メンバーも気功を受けた
通常、地元ではかかりつけが中医であるケースも多いという

中医とは西医(西洋医学、その医師)に対して、中国の伝統的医療、そしてそれを行う医師のことで、煎じなどの漢方、針灸、気功など

残された期間、邪魔をしない程度に地元の人との医療を越えた交流も考えている

撤退した旧814陸軍病院跡避難所は大きな発電器や簡易上下水設備も備えた本格的な町づくりをしており、仮設とは思えないほどであった。10/16李総統が訪問予定。

【メンバーの帰国】

10/14は松元、栗岡、張の3名が帰国します。台北12:00発15:55羽田着中華航空便の予定です。張薬剤師は台北発16:50沖縄着19:05で直接沖縄に帰ります。

残りのメンバーは15日の診療を最終に東勢を撤退し、その日のうちに林口長庚病院に戻り、16日病院見学の後、12:00台北発15:55羽田着中華航空100便で帰国します。

10月13日の各班の行動予定

第A班 東勢国民小学校避難所派遣

竹内 克彦	医師(内科)	大和
阿部 好弘	医師	鹿児島
劉 孟娟	医師	名瀬
Jenny Lai	医師(小児科)	USA
根笹 智江	看護婦	札幌東
浦里 博史	看護士	神戸
倉田 真紀子	看護婦	札幌東
山崎 宏和	看護士	大和

第B班 東勢国民中学校ベースキャンプ

橋爪 慶人	医師	岸和田
渡辺 英樹	ME	鎌倉

第C班 長庚記念医院

田原 代志枝	看護婦	千葉西(コーディネート業務)
--------	-----	----------------



東勢被災地便り:

原付を借りて避難所を廻りました。台湾の交通事情は車優先、赤信号でも気をつけて通れという状態で、実際、右折(台湾は車が右側)で止まっているとあおられるし、横断歩道に人がいてもつっこんでくる車もあるくらいです。何処かの車ににてますね(_);、その上、がれきなどで道路事情がよくないのでとても危険でした。

栗岡、根笹の両メンバーがボランティアの散髪を受けアバンギャルドな髪型になりました(' _ ')

事務局便り:

今回の行動をまとめて日本臨床救急医学会や災害医療研究会などに発表したいと考えています。いくつかの論点にわけ何回か発表しようと思いますが、出来る限り参加メンバーの意見を集約した形で矛盾の無いようにしたいと思います。何かサジェスションがあればtdmat@tokushukai.or.jpまでメールを<m()m>